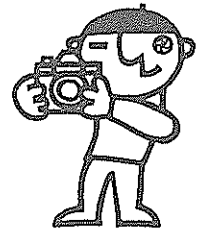


# カメラ レポート



竹林に春、白木谷の野村守男さん方は、早掘りタケノコが最盛期

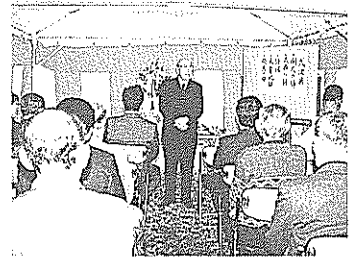


お茶をどうぞ、南国郵便局で開かれた土佐日記はり絵展に鷹ヶ池中茶道部の皆さんが趣きを添える



世論を高め北方領土返還を二月二日にキャンペーンキャラバン隊が市役所訪問

一斉にスタート(農協訪問駅伝競走大会、7ページに結果)



二月四日に大湊史談会の主催で土佐日記大湊出航記念日と繫纜(けいらん)の松を偲ぶ式典が行われた。史談会では平成三年三月に、土佐日記に出てくる繫纜の松があつたと思われる場所に記念碑を建立する計画

## 8羽が 尾の長さ競う

### 第1回土佐のオナガドリ きれいやい長いやい大会

土佐が全国に誇る名鳥オナガドリを見直そうと、一月二十五日に市社会福祉センターで「第一回土佐のオナガドリきれいやい長いやい大会」が開かれ、大篠長尾鶏保存会(田島正則会長)の皆さんが飼育する長尾鶏八羽が出品されました。

これは、特別天然記念物の長尾鶏を公開して認識を一新させるとともに、優良鶏飼育意欲の向上を図ろうと、市教育委員会

と保存会が開催したものと保存会が開催したもの。

長尾鶏には白藤、褐色、白色の三種類がありますが、この日出品されたのは、白藤七羽と褐色一羽。いずれも飼育者が手塩にかけて育てているだけに、甲乙つけがたい名鳥です。会場を訪れた三十人余りの皆さんは、感嘆しながら見入っていました。

審査の結果、尾の長さ五・九羽の白藤太郎(田島正則さん飼育)が市長賞を、三・二五羽の白ゆり(田村尚道さん飼育)が教育長賞を受賞。また、観覧者の人気投票による利右衛門賞には、褐色の土佐の花(窪田正夫さん飼育)が選ばれました。

保存会では、来年以降も大会を開き、日ごろの成果を見せよう機会にしたいと話しています。



慎重に審査